

伊勢志摩サミットに係る三重県からの提案・要望について

各国首脳による記念植樹の提案

三重県

2016年の主要国首脳会議が「自然との共生」が再認識できる伊勢志摩地域で開催されることとなりました。また、過去のサミット開催場所となった沖縄や北海道では記念植樹が行われてきました。

本県においても、ご来県されるサミット参加各国首脳による記念植樹を実施していただき、伊勢志摩サミット開催記念及び開催地としてのシンボルにしていきたいと考えており、その実施について提案します。

○植樹する苗木:「県の木」である「神宮スギ」



配偶者プログラムの提案

三重県

伊勢志摩は、日本人の心の「ふるさと」として、伊勢神宮や海女文化といった日本の精神性、多様で豊かな伝統・文化、また、英虞湾など日本の原風景ともいえる美しい自然等を数多く有しています。

配偶者の皆様方に三重を通じて日本を感じていただくべく、訪問いただきたい場所・実施していただきたい内容を三重県として選定しましたので、提案します。

○テーマ :「伊勢志摩にみる日本の伝統・文化」

○キーワード:「多様性」「持続性」「独創性」「女性」「食」

県産食材等、県産品及び伝統工芸品の活用の要望

伊勢志摩サミット三重県民会議 三重県

<県産食材等について>

「御食国(みけつくに)」として古くから朝廷に海産物を献上してきた三重県は、豊富な食材に恵まれており、「食」の宝庫といえます。伊勢志摩サミットにおいては、首脳や配偶者をはじめ、世界中からお集まりいただく多くの方々に、三重の「食」を堪能していただくことで日本の食文化に触れていただき、また、「食」を通じて、豊かな自然や人々の営みに思いを馳せていただきたいと考えています。

○三重県が誇る県産食材、加工食品、日本酒について、積極的に活用いただきますよう、要望します。

<県産品及び伝統工芸品について>

首脳会議場等におけるしつらえに向けても、以下のとおり活用いただきますよう、要望します。

○首脳会議場における円卓など、サミットに係る備品・・・尾鷲ヒノキ等の三重県産材

○首脳会議場における備品や食事の際の食器等・・・三重県の伝統工芸品

○首脳会議場等の装飾に使用される花き花木・・・三重県の花き花木



尾鷲ひのき



伊勢茶



松阪牛



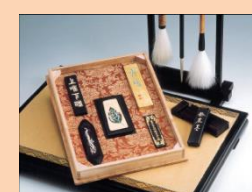
伊勢えび



伊賀くみひも



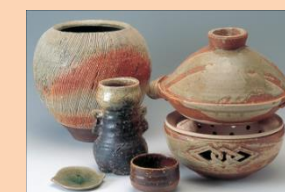
伊勢形紙



鈴鹿墨



四日市萬古焼



伊賀焼



さつき